

社会福祉法人足柄緑の会

令和元年度事業報告

目次

1	社会福祉法人足柄緑の会	1～3
2	法人利用者状況等	4～11
3	コスモス学園中沼ジョブセンター	12～17
4	コスモス学園中沼ジョブセンター 生産事業部	18～20
5	コスモス学園中沼ケアセンター	21～23
6	居宅介護事業所それいゆ	24～25
7	コスモス学園松田センター	26～32
8	相談支援事業所あすなろ	33～35
9	コスモスホーム	36～38

1. 社会福祉法人 足柄緑の会

1. 概況

令和元年度は、新たな取組は最小限にとどめ、引き続きサービスの質・量の向上に注力した。また、役員・職員の教育、新職員確保の取組の拡充・強化を継続的かつ重点的に実施した。

さらに、利用者送迎等の安全確保のため、コスモス学園中沼ジョブセンター・中沼ケアセンターへの進入路に車両待避所を造成したほか、建物・設備の老朽更新を計画的に進めた。

10月12日に開催予定であった第22回コスモス学園祭は、台風19号の接近・上陸により安全確保が困難と判断されたため、中止した。

2. 法人運営

(1) サービスの質の向上

本年度は引き続き日中活動支援サービスのさらなる質の向上に力を注ぐとともに、年間開所日数増加によりサービスの量的増大を図った。

- ① 就労移行支援・就労継続支援B型部門では、受注業務が順調に売上を伸ばした。またカフェ・デ・ソルの、南足柄・開成地区を対象とする弁当配達事業を継続し、一般の顧客からも支持を得られるようになった。

さらに、施設外就労に継続して取り組み、新たな就労先を開拓することができた。

一般就労者数は0名であったが、昨年度就労者4名のフォローアップ支援を行った。

プラスチック成形事業は、一部取引先への金型返却、コストダウン対応等があり、売上は昨年度より5%減少した。ISO9001は改善活動を継続した。

- ② 生活介護部門では、個々の利用者に適した日中生産活動を継続・拡大するとともに、新たに、アロマセラピーやフラワーアレンジメント等の室内プログラムを導入した。

- ③ 共同生活援助部門（グループホーム）では、自立に向けて各自のできることを見つけ、伸ばしていくことに取り組むとともに、地域の催し物に参加し、地域とのつながりを広げた。

- ④ 居宅介護（ヘルパー）部門では、法人内各事業所との連携が進み、前年度より、利用時間の大幅な向上に結び付けた。

- ⑤ 相談支援部門では、相談支援に必要な知識の習得に努めるとともに、地域における社会資源の活用に努めた。

(2) 職員の教育・育成

利用者への「支援力」向上のため、キャリアパスを見直した新しい人事考課制度の定着を図った。

全体職員研修としては、前期は損害保険ジャパンの講師を招いて「安全運転講習」を行い、安全運転の意識を再確認した。

後期は神奈川防犯協会の講師を招いて「事業所の防犯対策・不審者への対応」、神奈川県委託事業から講師を招いて「権利擁護と虐待防止」の講習を行い、利用者の安全確保と権利擁護を改めて確認する機会を設けた。

また、新職員確保のための活動（インターネットによる求人活動、事業所説明会等）を強化した結果、本年度中に5名の新職員確保の目途をつけた。

(3) 法人の社会的責任遂行・地域における公益的な取組

地域の清掃活動・自治会活動への参加は継続するとともに、カフェ・デ・ソルでは、認知症の方々を対象とした「ほっとカフェ」の開催に協力した。

また、環境改善活動として、KESの定着化を図った。

安全確保のため、コスモス学園中沼ジョブセンター・中沼ケアセンターへ上る道路の一部隣接地を買い取って、車両の待避所を造成した。

(4) 法人の法令遵守と財務安定化

役員研修としては、年に2回職員と合同で、「安全運転講習」ならびに、「事業所の防犯対策・不審者への対応」の講習を行った。

前年度より行っている、重要事項を業務会議の合議で決定する組織・運営体制を継続した。

また、厳しい財務状況の中、経費節減に努めた結果、年間開所日数の増もあり、事業収支を前年に比べ大きく伸ばすことができた。

3. 理事会・評議員会実施報告

(1) 理事会

令和元年度第1回理事会 令和元年5月30日（木）

- | | |
|-------|------------------|
| 第1号議案 | 平成30年度事業報告の承認の件 |
| 第2号議案 | 平成30年度計算書類等の承認の件 |
| 第3号議案 | 定時評議員会の招集の件 |
| 第4号議案 | 役員選任候補者の推薦の提案の件 |
| 第5号議案 | 就業規則の改定・新設の件 |
| 第6号議案 | 定款変更の件 |
| 第7号議案 | 土平沢農道の待避所造成工事の件 |

令和元年度第2回理事会 令和元年6月26日（水）

- | | |
|-------|----------|
| 第1号議案 | 理事長の選定の件 |
|-------|----------|

令和元年度第3回理事会 令和元年7月24日(水)

第1号議案 土平沢農道の待避所造成工事費用の件

令和元年度第4回理事会 令和元年9月23日(月)

第1号議案 給与規程の変更の件
第2号議案 育児休業・介護休業・子の看護等規則の変更の件
第3号議案 令和元年(2019年)度第1次補正予算承認の件
第4号議案 運営規程の変更の件
第5号議案 第三者委員の変更の件
第6号議案 評議員選任・解任委員の選任の件
第7号議案 有価証券購入の件

令和元年度第5回理事会 令和元年11月21日(木)

第1号議案 たまご型容器用金型更新の件

令和元年度第6回理事会 令和2年1月23日(木)

第1号議案 令和元年度第2次補正予算承認の件
第2号議案 キャリアパスおよび給与規程変更の件

令和元年度第7回理事会 令和2年3月23日(月)

第1号議案 令和元年度第3次補正予算承認の件
第2号議案 令和2年度事業計画の件
第3号議案 定款施行細則の変更の件
第4号議案 職務権限規程の変更の件
第5号議案 経理規程の変更の件
第6号議案 令和2年度予算案承認の件
第7号議案 土地購入の件
第8号議案 射出成形機の取出機更新および画像検査装置購入の件

(2) 評議員会

定時評議員会 令和元年6月17日(月)

第1号議案 平成30年度計算書類等の承認の件
第2号議案 理事・監事選任の件
第3号議案 定款変更の件

(2) 利用者年齢構成状況

令和2年3月31日付

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
就労移行 中沼JC	男	1	1							2	19.5
	女		1							1	22.0
	計	1	2	0	0	0	0	0	0	3	20.8
就労継続 中沼JC	男	2	8	5	6	9	2	2		34	34.6
	女		2	3	3	1	2	1		12	36.7
	計	2	10	8	9	10	4	3	0	46	35.7
日中一時 中沼JC	男			1	1		1			3	36.8
	女		1		2					3	31.0
	計	0	1	1	3	0	1	0	0	6	33.9
中沼CC	男			4	5	4	1			14	36.0
	女		3	3	7	4	1		1	19	36.0
	計	0	3	7	12	8	2	0	1	33	36.0
就労継続 松田C	男	1	4	6	5	2	2			20	31.6
	女		1	1	4		1		1	8	39.0
	計	1	5	7	9	2	3	0	1	28	35.3
日中一時 松田C	男		1	1	1	1				4	31.8
	女									0	
	計	0	1	1	1	1	0	0	0	4	31.8
生活介護 松田C	男	1	5	8	2	2				18	27.7
	女	1	2	3	1					7	25.6
	計	2	7	11	3	2	0	0	0	25	26.7
全平均											31.4
男性平均											31.1
女性平均											31.7

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
ホーム コムス	男		1	2	4	5	2	2		16	41.0
	女		2	3	5	1	2	1		14	36.0
	計	0	3	5	9	6	4	3	0	30	38.5

(3) 医療状況

内科検診

月/日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/27	46	3		49
5/30	2	29		31
7/31			47	47
10/3	45	30		75
1/29			45	45
計	47	59	92	198

利用者健康診断(JA)

月/日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
3/10			49	49
3/16	45	31		76
計	45	31	49	125

歯科検診

月/日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/21			40	40
6/24	40	30		70
計	40	30	40	110

インフルエンザ予防接種(任意)

月/日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
11/7	38	31		69
11/13			38	38
計	38	31	38	107

(4) コスモス会(自治会)活動状況

項目	実施	場所
自治会役員定例会議	11回/年	中沼ジョブセンター会議室 松田センター食堂
全体会	12回/年	中沼ジョブ・ケアセンター作業室 松田センター作業室
献立会議	4回/年	中沼ケアセンター食堂 松田センター食堂
行事準備(買出し等)	2回/年	
学園行事担当	納涼大会(ジュース)	中沼ケアセンター中庭

(5) 行事实施状況

実施日	行事名	場所
4/6	入学式(中沼ジョブセンター)	中沼ケアセンター1階
	入学式(松田センター)	松田センター
7/13	第22回納涼大会	中沼ケアセンター中庭
9/13	コスモス学園運動会	南足柄市体育館
10/5	コスモスホームパーベキュー大会	コスモスホーム駐車場
11/15	生活介護(中沼ケアセンター)バス旅行	山梨県立リニア見学センター
	生活介護(松田センター)バス旅行	沼津港・深海水族館
11/22	就労(中沼ジョブセンター)バス旅行	萁山反射炉・めんたいパーク工場
	就労(松田センター)バス旅行	ヤクルト裾野工場・時の栖・えびせんの里
12/7	第38回県西地区障害者文化事業	小田原市川東タウンセンターマロニエ
12/14	コスモスホーム忘年会	中沼ケアセンター1階
12/20	クリスマス会(中沼ジョブセンター)	中沼ケアセンター2階
	クリスマス会(中沼ケアセンター)	中沼ケアセンター1階
	クリスマス会(松田センター)	松田センター
2/15	県西地区グループホーム交流会	伊東ハトヤホテル
2/21	レクリエーション(中沼ジョブセンター)	午前中:中沼ケアセンター2階 午後:ピオトピア未病センター
	レクリエーション(中沼ケアセンター)	中沼ケアセンター1階
	レクリエーション(松田センター就労B型)	まねきねこ秦野渋沢店
	レクリエーション(松田センター生活介護)	小田原城址公園

(6) ボランティア状況

月	納涼大会												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
中沼JC	1	1	1	20	1	1	1	1	3	1	1	0	32
中沼CC	4	5	5	4	5	4	5	4	4	4	4	1	49
松田C	6	4	3	1	0	1	1	5	1	0	5	2	29
コスモスホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イベント	0	0	0	127	0	18	0	0	0	0	0	0	145
合計人数	11	10	9	152	6	24	7	10	8	5	10	3	255

(7) 防火・防災 訓練実施状況

実施日	訓練内容	事業所	参加総数
			264名
6/17	避難訓練 (地震想定)	松田センター	47
9/21	総合防災訓練	コスモスホーム	14
9/26	大雨土砂災害警報 による避難訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	75
12/24	避難訓練 (火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	67
1/24	総合防災訓練	松田センター	45
2/8	総合防災訓練	コスモスホーム	16
		合計	264

(8) 研修・実習等受入状況

受入総数 29名

実施日	研修・実習名	人数
5/8～9	就労移行支援体験利用(中沼ジョブセンター)	1
6/10～14	小田原養護学校3年生校外実習(中沼ケアセンター)	1
6/11	小田原養護学校3年生校外実習(中沼ジョブセンター)	1
6/25～26	小田原養護学校3年生校外実習(中沼ケアセンター)	1
7/30～8/1	大井小学校教員実習(松田センター)	1
7/31	小田原養護学校職場体験実習(中沼ジョブセンター)	1
7/31～8/1	松田町社会福祉協議会主催夏休み体験実習(松田センター)	3
8/3～19	鎌倉女子大学保育実習(松田センター)	2
8/6～7	鎌倉女子大学相談援助実習(中沼ジョブセンター)(中沼ケアセンター)	1
8/26～9/9	鎌倉女子短期大学保育実習(中沼ジョブセンター)(中沼ケアセンター)	1
9/10～12	小田原養護学校3年生就労アセスメント実習(中沼ジョブセンター)	1
9/17～20	小田原養護学校3年生就労アセスメント実習(中沼ジョブセンター)	1
11/5～14	コスモス学園利用体験実習(中沼ジョブセンター)	1
11/6～8	足柄台中学校職場体験実習(中沼ジョブセンター)	1
11/20	小田原養護学校3年生校外実習(中沼ケアセンター)	1
11/25～27	コスモス学園利用体験実習(中沼ジョブセンター)	2
11/26～27	小田原養護学校3年生校外実習(中沼ケアセンター)	1
12/2～6	神奈川社会福祉専門学校相談援助実習(中沼ジョブセンター)	1
12/2～13	コスモス学園利用体験実習(中沼ジョブセンター)	1
12/11	小田原養護学校就労アセスメント実習(中沼ジョブセンター)	1
12/17～18	小田原養護学校就労アセスメント実習(中沼ジョブセンター)	1
2/5、2/11	支援員就職実習(中沼ジョブセンター)	2
2/24～2/28	就労移行支援体験利用(中沼ジョブセンター)	1
2/17	小田原養護学校2年生体験実習(中沼ジョブセンター)	1
	合 計	29

(9) 令和元年度職員配置状況

	所長	部長	サービス管理責任者	サービス提供責任者	支援員	相談支援専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	栄養士	事務員	合計
中沼 JC (生産事業部)	兼務		1		14				9				24
中沼 CC	兼務		1		20					1			22
それいゆ	兼務			1			8						9
松田C	1		1		19					7		兼務	28
あすなろ	兼務					1							1
コスモスホーム	1		兼務		4			24		1			30
総務部												4	4
合計	2	0	3	1	57	1	8	24	9	9	0	4	118

平成30年度職員配置状況 <比較資料>

	所長	部長	サービス管理責任者	サービス提供責任者	支援員	相談支援専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	栄養士	事務員	合計
中沼 JC (生産事業部)	兼務		1		14				8				23
中沼 CC	兼務		1		21					1			23
それいゆ	兼務			1			8						9
松田C	1		1		21					8		兼務	31
あすなろ	兼務					1							1
コスモスホーム	1		兼務		3			26		1			31
総務部												4	4
合計	2	0	3	1	59	1	8	26	8	10	0	4	122

(10) 令和元年度採用・退職状況

事業所	採用	退職
中沼 JC (生産事業部)	1	3
中沼 CC	2	4
松田C	5	4
コスモスホーム	2	
あすなろ		
それいゆ		
総務部	1	
合計	11	11

平成30年度採用・退職状況 <比較資料>

事業所	採用	退職
中沼 JC	3	
中沼 CC	2	1
松田C	1	3
コスモスホーム	5	5
あすなろ	6	
それいゆ		
生産事業部		
総務部		1
合計	17	10

(11) 令和元年度 職員研修出席状況

日 時	研 修 会 名	人 数
4/19	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	1名
5/27	社会就労センター協議会第1回総会・研修会	2名
5/29	新任職員人権研修	1名
6/18	地域リハビリテーション支援センター研修	1名
6/25	経営者部会研修会	1名
6/27	令和元年度 アサーション研修	1名
7/1	市町村審査会委員研修	1名
7/9	安全運転管理者法定講習	3名
7/10～11	関東地区知的障害者福祉関係職員研究大会神奈川大会	1名
8/7	精神障害者ホームヘルパー現任者研修	1名
8/9	令和元年度 経営協セミナー(前期)	1名
8/21～22	サービス管理責任者研修	1名
8/23	KWネット合同研修会	2名
8/27	障害者グループホーム職員研修	7名
8/29～30	第31回グループホーム等研修会	1名
8/30	社会福祉法人の経営力強化セミナー	1名
9/9	障害福祉施設等防犯研修会	1名
9/10、12	初任者キャリアパス対応生涯研修過程	1名
9/25	福祉新聞フォーラム「決算書から読める法人経営の実態」	1名
10/10	防犯マニュアル作成研修会	1名
10/11	令和元年度 地域移行支援人材養成研修	1名

日 時	研 修 会 名	人 数
10/21	令和元年度 社会就労センター協議会販売促進研修会	1名
10/24	令和元年度 小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町 地域障害者自立支援協議会	1名
〃	圏域ナビ研修	1名
11/5	神奈川県オンブズマンネットワーク交流研修会	1名
11/7	精神障害者ホームヘルパー現任者研修	2名
11/7～8	令和元年度 コーチング研修	1名
11/13～14	第2回神奈川県強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	1名
11/27	令和元年度 社会就労センター協議会県内施設視察研修会	1名
11/28～29	令和元年度 接遇リーダー研修	1名
12/4～6	令和元年度 リスクマネジャー養成研修会	1名
12/23	令和元年度 経営協セミナー(後期)	1名
1/28	同一労働同一賃金対応セミナー	1名
1/29	社会就労センター協議会就労研修	1名
1/30～31	社会福祉法人人事・労務管理講座	1名
2/10	県西地区施設長会主催職員研修	2名
6/8	第1回 職員研修 「安全運転講習」	62名
	・生活道路における事故防止について ・道路交通法について	
	・KYシートを用いたグループワーク ・安全チェックシートによる自己分析	
2/15	第2回 職員研修 午前:「社会福祉施設防犯講習」	69名
	午後:「権利擁護と虐待防止」	

3. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労移行支援

2. 利用者在籍状況 定員 6 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	20
女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	3	32
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
入所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成30年度 99.8%、 1,524名

(2) 令和元年度 40.3%、 652名

4. 就労活動

(1) ビジネスマナー

① 就労に必要な力をつけるため イ、呼ばれたら返事をする。ロ、一生懸命行う。ハ、人に迷惑をかけない。ニ、自分のことは自分で行う。

4つの項目を日々目標に掲げて取り組んでいる。

② 挨拶、返事、身だしなみ、生活リズム、服薬管理、公共交通機関の利用法、携帯電話の使用マナー等重要性を伝えている。

(2) 実習支援

以下の企業で、職場実習を行った。

A社、B社、C社 合計3社

(3) 求職活動支援

① 月に1回ハローワーク求人情報を検索し、情報収集に努めた。

② ハローワーク登録を2名行った。

③ 就労支援センターぽけっと、パレットはだのと共同で就労定着支援を行った。

(4) フォローアップ支援

4名の方が就労したため、職場定着に向けたフォローアップを行っている。うち3名は雇用継続しており、うち1名は令和2年3月に一身上の都合により退職となり、現在は就労移行支援事業所（他社）の再就職支援につなげている。

5. 就労移行実績

令和元年度は利用者数減および就労準備が整わず就職者数0名。平成30年度4名の就職者は、3名が職場定着、1名が1年2か月で退職となっている。

就労先

- ① コスモス学園中沼ジョブセンター生産事業部 検品検査作業 (就労継続中)
- ② C社 老人ホーム居室・共用部の清掃 (令和2年3月退職)
- ③ D社 研修施設の清掃 (就労継続中)
- ④ E社 パレット積み重ね作業 (就労継続中)

コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 34 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	396
女	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
計	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	552
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成30年度 111.0%、9,503名

(2) 令和元年度 116.2%、10,603名

4. 工賃実績

月	上半期							下半期							年間合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	
工賃支払対象者数	42	42	42	42	42	42	252	42	42	42	42	42	42	252	504
工賃支払総額(千円)	576,370	574,860	605,620	625,220	616,130	601,850	3,600,050	620,850	556,770	584,680	590,700	1,503,860	590,810	4,447,670	8,047,720
延べ勤務時間数	3,345	3,326	3,183	3,301	3,322	3,208	19,685	3,351	3,003	3,015	3,141	2,902	3,091	18,503	38,188
平均工賃 (円)	時間額	172	173	190	189	185	183	185	185	194	188	518	191	240	211
	月額	13,723	13,687	14,420	14,886	14,670	14,330	14,286	14,782	13,256	13,921	14,064	35,806	14,067	17,649

(1) 平均工賃月額 15,968円

(2) 平均工賃時給 211円

5. 日中活動

(1) 奉仕活動

- ① 認知症当事者会が行っている金太郎農園でのサツマイモ掘りを行った。
- ② Café de solにて、クレイジーパンプキン絵画教室の個展を開催した。

(2) 廃品回収

- ① 段ボール、古新聞の回収を行い、毎週火曜日に松田センターに届けた。
- ② 各家庭から持ち寄ったアルミ缶は随時、中沼ケアセンターに届けた。

(3) 健康管理

- ① 個々の利用者健康診断結果をもとに、血圧、体重、サチュレーションの測定

を導入した。

血圧測定者：7名、体重測定者：2名、サチュレーション測定者：3名

- ② 発作を記録し、通院時の情報提供を行った。
- ③ 朝の作業開始前にはラジオ体操を作業室ごとに実施し健康の維持に努めた。

(4) フリープログラム

- ① 太極拳講師を迎え、月1回太極拳プログラムを実施した。1回70分で10名～15名程度参加している。3月は新型コロナウイルス感染予防のため中止している。
- ② 希望者に対してセラピー犬と触れ合う時間を設けた。
- ③ 日中活動報告(行事)を作成した。

(5) 地域交流

- ① 認知症当事者会と一緒にサツマイモ掘りを行った。
- ② 12月県西地区文化事業にて、出張カフェを行い、弁当販売も行った。

(6) 地域における公益的な取組

- ① 毎月1回第4木曜日(8月を除く)にカフェ・デ・ソルにて、ほっとカフェ(認知症カフェ)を開催した。
- ② クレイジーパンプキン絵画展をカフェ・デ・ソルにて開催した。

6. 就労活動

(1) プラスチック製品の検査・計量・箱詰め・伝票作成・束ね

高齢、重度利用者でも取り組める作業としてライン作業を継続して行った。計量、箱詰め、伝票作成では入力ミスは1件もなく、不具合0で1年を終えている。

(2) 清掃活動

清掃メンバーの技術向上に伴い、施設外就労と事業所内清掃を同時進行で行えるまでに成長し、効率的な清掃活動につながっている。

(3) 施設外就労

- ① 令和元年度も引き続き、りんどう会館清掃を月・水・金の週3回継続している。利用客からの評判も良く、日に日に自信をつけることができている。
- ② F社の育樹作業を今年度も継続した。月に2回の作業となり、外に出て体を動かす作業がリフレッシュにもつながっている。
- ③ 南足柄市から依頼され医療症、がん検診チケットの封入作業を行っている。
- ④ G社にて、年末2日間限定的にチラシの丁合作業を行っている。
- ⑤ H社より委託を受け、開成地区、栢山地区のチケットパーキング除草作業を行っている。

(4) 飲食店

- ① 弁当事業は、行政関係以外にも、一般の顧客からも支持を得られるようになり日々20食前後の注文を取ることができた。
- ② 配達業務を取り入れ、お金の計算や、次の日の注文を取る営業活動などにも取り組み活躍の場が広がっている。近隣の注文は利用者が一人で配達している。

(5) その他

- ① G社との取引が本格化し、作業単価の高い作業が充実してきている。短納期に対応していくことへの対策を強化していきたい。
- ② 近隣施設との受注ネットワークも確立することができ、大量受注への対応が可能となった。

7. 余暇活動

(1) バス研修旅行

11月22日(金)、韮山反射炉の世界遺産観光と伊豆めんたいパークの工場見学を行った。あいにくの雨で足元が悪い中であつたが、転倒事故等もなく無事楽しむことができていた。昼食はランチバイキングで新鮮な海の幸から、ステーキまで種類も豊富で、皆さん満足されていた。

(2) クリスマス会

12月20日(金)、午前は利用者、職員の出し物で、カラオケやテーブルゲームを楽しんだ。午後はグループごとにクリスマスリース作りを行った。

(3) レクリエーション

2月22日(金)、午前は、小田原奇術倶楽部様をお迎えし、マジックショーを楽しみ、午後は、大井町にある未病バレエBIOTOPIAに行き、健康を意識した体験アトラクションを楽しんだ。

(4) クラブ活動

音楽クラブ、クラフトクラブ、卓球クラブ、ドライブクラブ、映画クラブに分かれて月1回土曜日の午後を余暇で楽しんだ。

8. 職員研修

新任研修、アンガーマネジメント研修、コーチング研修、工賃向上研修等の外部研修に参加している。

9. 地域活動

開催日	行事名	場所
毎月第4木曜日(8月除く)	ほっとカフェ	カフェ・デ・ソル
6月	南足柄市環境フェア	南足柄市役所

7月	納涼大会	中沼ケアセンター中庭
12月	県西地区文化事業	川東タウンセンターマロニエ

10. 支援他

- (1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。
- (2) 中沼ジョブセンター会議を毎月1回開催した。
- (3) 工賃会議を4月、10月に実施した。
- (4) 利用者健診
 - ・健康診断を年1回実施した。
 - ・内科健診を年2回実施した。
 - ・歯科検診を年1回実施した。
 - ・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。

4. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 生産事業部 就労支援事業

2. 目標達成手段・具体的方策

(1) 平成 30 年度比 101%の売上を目指す

通期で前年度比 95% (目標 101%) の売上であった。

下期より売上が前年度同月を下まわる傾向が見られた。主たる原因として、I 社より毎月 15 万個受注していた製品金型の返却と J 社製品の金型更新に伴うコストダウン対応によるものが大きいと考える。

① 既存顧客からの受注製品増加

(ア) J 社より自動車向け新規格バッテリー部品の製造を受注することができた。金型構造検討で学園の知見を活用できた。

(イ) I 社よりパチンコ向け製品の受注を受けた。量産は令和 2 年度の予定。

(ウ) K 社より、金属部品の樹脂部品変更製品で新規受注があった。

② 営業力の強化・新規顧客開拓

卵殻を混練したプラスチックを開発した L 社から新規受注を受けた。

③ 成形機稼働の効率化による生産能力向上

M 社からの受注品を中心に成形品の 2 次加工を自動化する取組を続けた結果、無人稼働が可能となり生産性が向上した。

④ プラスチック成形品の製造組立の受注・シームレスな営業活動

⑤ 製品見積の精度向上、作業工程の見直しを行い利益率を向上させる

(ア) N 社向け製品では、平成 30 年度の収支実績を勘案し価格交渉を行った結果、若干の値上げが認められた。

(イ) 新規見積では、過去の歩留まり実績、注文数の変動による価格変化をデータ化し精度を向上させた。

(2) 組織体制の強化を図る

① 将来プラスチック成形工場全体の管理ができる人材の雇用・育成をする

今年度は職員 1 名を対象にプラスチック成形技能士資格を取得のため、技術顧問による技術指導を実施した。

② プラスチック分科会で将来に渡った経営の持続的安定について検討する

プラスチック分科会を定期的に実施し、主に経営課題、設備投資計画について打ち合わせを行った。

③ プラスチック成形付帯作業の効率化を計る

(ア) 自動取出機を活用し 2 次加工の自動化を進めた。

(イ) 人手が必要な作業 (外観検査・梱包) を就労系事業所に提供した。

- ④ 生産活動のデータ管理（稼働率・良品率等）を行う
新規受注・生産・在庫・出荷管理ソフトの稼働を行った。
 - ⑤ 職員教育の実施
 - （ア）職員のプラスチック成形技能士実技試験対策（5月～6月）
 - （イ）品質研修を毎朝のミーティングを利用し随時実施した。
- （3）適切な設備投資・修繕
- ① 設備投資計画
今年度は大規模な設備投資は実施せず、現状設備の改良を進めた。令和2年度に実施する設備投資計画を検討した。
 - ② 修繕が必要な設備
 - （ア）今年度は生産計画に大きな影響を及ぼす設備の故障はなかった。
 - （イ）老朽化が進んでいる設備は随時、内部部品等のリニューアルを施した。
これにより問題なく生産を継続させることができた。
 - （ウ）エアコンプレッサー、フォークリフトの定期点検を実施した。
 - ③ 現在稼働中のデータベースソフトを更新し見積作成に役立てている。
- （4）品質管理体制の強化
- ① 製品検査担当の見直しを実施し業務負担の平準化を図った。
 - ② 各種検査装置の情報収集と検査機メーカーとの打ち合わせは継続した。現状に見合う機能とコストの検査機導入を目指し検討は継続する。
 - ③ 1月にISO9001定期審査が実施された。是正処置が必要な指摘はなく継続できた。
- （5）資格・免許の取得
- ① プラスチック成形技能士資格取得（1名）
 - ② フォークリフト運転技能講習修了（1名）
- （6）令和元年度重点取組事項
- ① 消費税引上げ対策の実施
10月以降問題なく新税率に対応した。
 - ② 人件費、原料費、資材費上昇による製造原価上昇対策の実施
工程の自動化を実施した。原材料費は令和元年度は目立った価格の変動は見られなかった。
- （7）特記事項
- N社より受注している製品は、今後所要量の大幅な増加が見込まれ、増産対応

の可否について打診を受けた。24 時間土日稼働など生産体制の大幅な変更が必要だったため対応不可と判断し金型、自動設備は返却することになった。

5. コスモス学園中沼ケアセンター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員27名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
女	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	238
計	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34	33	33	406
退所											1		1
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成30年度 112.4%、7,653名

(2) 令和元年度 112.6%、7,937名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月19日～22日	環境フェア	南足柄市役所
12月1日	健康フェスタ	保健医療福祉センター
12月7日	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンター マロニエ
2月4日～8日	ちいきふくし博	南足柄市役所

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

落ち着いた雰囲気の中での活動なので、職員と話をした方やゆっくりと過ごしたい方が好んで参加している。光や音、匂い等の環境を整えることでリラックスして過ごせていた。

(2) 運動・ストレッチ

運動の流れは利用者にも浸透しており、音楽に合わせて体を動かす機会を提供できている。また、運動後はクールダウンとしてストレッチも行っている。

(3) 音楽・カラオケ

選曲できる方については、好きな曲を選んで歌うことでリフレッシュしている様子がうかがえる。選曲が難しい方については、職員が利用者の好きな曲を選曲することで表情良く過ごせている。

(4) DVD鑑賞

ゆっくりと過ごす日課として取り入れており、利用者は集中して鑑賞している。また、リクエストを聞くことで、見たいDVDを見られるようにしている。

(5) 外出活動

公園までドライブし、そこで散歩をすることで歩行時間の確保、気分転換を図っている。外出は好きな方が多いので今後も継続して行い、行ける場所を増やせるようにする。

(6) 音楽療法

月2回行っており、楽器演奏をしたり、歌を歌ったりと活動的な日課となっている。また、クリスマス会での音楽療法の発表も行い、その練習も真剣に取り組んでいた。

(7) アニマルセラピー

セラピー犬が来るのを楽しみにしている利用者が多く、触れ合っている時の表情も良い。中沼ジョブセンター、松田センターからも利用者が参加しているので、交流の場にもなっている。

(8) 伝統芸能

茶道では、お茶のたて方に慣れてきた様子で職員の分のお茶をたててくれる方も出てきている。華道では、どの花を生きたいか利用者本人が選べる場面が増えており、楽しんで行っている。

(9) 地域交流

買物外出でよく使うコンビニは、学園のことを認知してくれているので、そういった店舗を増やしていくのが今後の課題となる。また、地域行事に出店することで地域の認知度を上げていく必要がある。

(10) 全般

余暇活動において、新たなボランティア探しを続けていくことで、日課の拡充を図っていく。また、その中で利用者が何をやりたいのか選べるような場面を増やす。

6. 就労活動

(1) 制作活動

季節ごとにその時季に応じた制作を行い、事業所内にそれを飾ることで季節感を出すことにもつながった。作業においては手先訓練の種類を増やし、利用者の特性に応じて行うようにすることで、作業の幅が広がった。

(2) リサイクル作業

ペットボトルのリサイクルについては、O社が事業から撤退したことでなくなってしまった。アルミ缶回収については地域の方の協力もあり、継続して行えている。

7. 余暇活動

(1) バス旅行

11月15日(金)に山梨方面に行った。これまで、貸切バス2台での旅行だったが、今年度は1台とし、法人の車両を使用することで旅行代を下げられるようにした。これまでは見学がメインのバス旅行となっていたが、ブドウ狩りを取り入れたことで利用者から好評だった。

(2) クラブ活動

中沼ジョブセンターとの合同の活動となっているので、いつもとは違う雰囲気の中で活動できており、交流の場にもなっていた。

8. 職員研修

正職員については、食事介助の方法や職員間のコミュニケーション研修等外部の研修に出る機会を作ることができた。今後はそれを中沼ケアセンター会議で全体に周知できるようにする。職員の資質向上のためにも研修に出る回数を増やせるように調整する。

9. 事業所運営

権利擁護については、今年度は意思決定支援を具体的に支援に組み込んでいくことができなかったため、今後の課題として検討する。業務改善を進めることができなかったため、職員の残業時間が多くなったので、次年度は業務の効率化を図り残業時間を減らす。

10. 支援他

職員のスキルアップのために、中沼ケアセンター会議の時間をこれまでよりも有効に活用し、その中で障害特性や介助方法の理解、KYT等を取り入れる。職員間の情報共有のためにグループ内での話し合いや打ち合わせ方法の変更をしたので、今後も継続して行う。

6. 居宅介護事業所それいゆ

1. 事業内容 居宅介護・重度訪問介護

2. それいゆ利用時間・累計利用人数

- (1) 平成30年度 5,678.5時間、6,001名
- (2) 令和元年度 5,965.0時間、6,313名

3. 支援内容別利用時間

(1) 平成30年度

- ① 身体 5,296時間
- ② 家事 358時間
- ③ 移動 24.5時間

総利用時間数 5,678.5時間

(2) 令和元年度

- ① 身体 5,506.5時間
- ② 家事 416.5時間
- ③ 移動 42.0時間

総利用時間数 5,965.0時間

今年度の総利用時間数は、昨年度より286.5時間の増であった。外部の利用率は減ったが、休日のコスモスホーム勤務者をヘルパー資格所持者対応にしたこと等による。

4. ヘルパー業務

(1) 日常生活支援

引き続き掃除、洗濯、調理での支援内容をヘルパー同士確認しながら支援にあたった。次年度も利用者の特性を踏まえた支援の向上ができるよう取り組む。

(2) 適切なサービス提供

前年度同様、状況に応じて相談支援事業所と連携を図り、効率的にサービス提供できるようにした。

(3) 人権擁護

法人内研修「権利擁護と虐待防止」に参加した。ミーティング内で人権擁護について話し合い、検討事項は個別に伝え、意見を聞きスキルアップにつなげた。

(4) 地域連携

- ① 相談支援事業所と情報交換を定期的に行い連携強化が図れた。
- ② 県西地区あんしんヘルパーネット会議に参加している。新型コロナウイルス

感染症拡大防止のため回数が減った。

(5) 守秘義務の徹底

個人情報ヘルパー同士で共有することが多く、情報漏洩がないように随時ミーティング等で話し、徹底を図った。

5. 職員研修

- (1) 年2回法人内職員研修に参加し、知識を向上させることができた。OJTは定期的に実施した。
- (2) 精神障害者研修の災害対策、事例検討の研修に参加した。個々のスキルアップのため今後も積極的に外部研修へ参加する。
- (3) 定例会でわからないことを話し合い実践に活かしていく。

6. 事業所運営

- (1) 現状の職員数では男性利用者の対応が困難であったが、法人内各事業所との連携が円滑に進み、支援、協力体制の強化につながられた。
- (2) 虐待防止チェックリストを活用し、疑問点や不安等の整理、話し合いを行い支援強化を図った。
- (3) 在宅介護サービスは、契約終了の方が1名、新規の方が1名となっており次年度も拡大できるように体制を整える。
- (4) 基本理念、基本指針はミーティング等にて周知徹底した。

7. コスモス学園松田センター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員18名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	19	224
女	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	93
計	27	27	27	27	27	27	27	26	26	25	25	26	317
退所								1		1			2
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成30年度 115.0%、5,236名

(2) 令和元年度 110.1% 5,194名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
4月29日	延命寺ぼたんまつり	松田町延命寺
5月5日	第41回若葉まつり	寄自然休養村
8月24日	まつだ観光まつり	松田町酒匂川町民親水広場
11月9日	HoloHolo 朝市	上府中公園
11月25日	まつだ産業まつり	JR松田駅北口広場
12月2日～12月9日	障がい者街角アートギャラリー	さがみ信用金庫松田支店
12月7日	県西地区障害者文化事業	川東マロニエ
2月4日～2月8日	ちいきふくし博	南足柄市役所

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

手作り灯籠やお香、オルゴールサウンドを使用し、リラックスした環境を設定できている。ニーズがある利用者は定期的に参加できていた。

(2) 運動

利用者個々の状況に合わせてプログラムを設定し、ストレッチや歩行、体操DVDを見ながら楽しく継続して取り組めた。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

カラオケは昼休みに行い、参加した利用者は曲に合わせて踊ったり、聞いたり楽しく

参加できていた。クラブ活動で楽器を製作し、音楽プログラムでリズムに合わせて演奏するなど、様々な利用者が楽しめた。

(4) DVD鑑賞

利用者に見たいDVDを選択してもらい、3か所に分かれて行った。自己選択をすることで、みんなで楽しくDVD鑑賞できていた。

(5) 外出活動

少人数で取り組むことで気分転換や利用者個々とコミュニケーションを取る時間も増えた。月2回、地域の方と一緒に公共施設で太鼓を叩き、お話し会に参加して交流を深めることができた。

(6) 音楽療法

利用者の状況に合わせて動的、静的のグループに分かれて行った。たくさんの利用者が楽しく参加できていた。演奏を聴く時間、一緒に楽器を使って参加する時間を分けることで、利用者個々の音楽を楽しむ時間ができていた。

(7) 奉仕活動

月1回実施、松田センター周辺の公園やパークゴルフ場、川沿いで美化活動(ごみ拾い)を行った。地域の方から声をかけられることも多くなった。

(8) 足湯

11月～3月に実施している。入浴剤を入れたり、マッサージをすることで利用者全体がリラックスして参加できていた。足元の血行促進にもつながった。

(9) 地域ボランティアとの交流

ダンベル体操(運動)、カラオケ、大正琴、クレッシェンド(演奏)、フラワーアレンジメントの方々が定期的に来所された。利用者のニーズに合わせたプログラム設定ができた。

(10) 法人内他事業所との交流

月2～3回、中沼ケアセンターのプログラム(セラピー犬、生花、茶道)に参加している。ニーズがある利用者が多く、様々な利用者が参加できた。職員間の情報交換もできた。

(11) 日中活動全般

月1回の医療ケア会議は管理者、サービス管理責任者、看護師等が参加し情報共有ができた。看護師が不足しているため医療対応利用者の受入れに支障をきたしている。

6. 就労活動

(1) 制作活動

利用者個々が縫物の糸やビーズの色を選んで作成できていた。作品によっては数名の利用者が協力して取り組むことができた。

(2) コピー機部品の分解（リサイクル）・検査

作業工程を増やしたことで、たくさんの利用者が作業を行うことができていた。全体的に集中できる時間も長くなった。

(3) 重機部品の組付け・検査

組付け作業の希望者が多く、様々な利用者が取り組めていた。細かい作業で指先を使う工程が多いが、集中して行っていた。

(4) その他

① 就労継続支援B型と連携して新規作業の内職作業（アルミ曲げ）をたくさんの利用者が集中して取り組めた。

② 利用者全員で協力し、県西地区文化事業にコルクで作成したキリンを出展した。コンクールでは銀賞に選ばれた。

コスモス学園松田センター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 22 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	22	22	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	247
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	87
計	29	29	28	28	28	27	27	27	27	28	28	28	334
退所			1			1							0
入所										1			0

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 平成30年度 110.5%、6,359名

(2) 令和元年度 113.7%、6,556名

4. 工賃実績

(1) 平均工賃月額 14,809円

(2) 平均工賃時給 199円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対象	29	29	28	28	28	27	27	27	27	28	28	28	334
総額	392,280	387,540	380,060	375,340	342,270	353,950	379,790	342,460	338,980	353,040	914,500	385,970	4,946,180
日数	495	574	570	554	578	526	550	558	527	516	532	509	6,489
時間	1,847	2,236	2,223	2,167	2,178	2,042	2,058	2,186	1,971	1,929	2,074	1,913	24,824

5. 日中活動

(1) 奉仕活動（公益活動）

作業の合間に松田地域をメインに美化活動を実施した。近隣の方に対して挨拶などのマナーも定着し、地域貢献、地域交流ができた。

(2) 廃品回収（公益活動）

古紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶等を法人内事業所、保護者、地域などに呼びかけて回収を行った。月1回、松田町指定の再生資源回収業者が回収し、収益は利用者の工賃に充てた。また資源の有効活用、ごみの削減にもつながった。

(3) 歩行

運動の必要な利用者は個別に時間を設けて実施した。身体機能の維持、体重の減少に努めた。

(4) フリープログラム

個別利用者を対象にストレッチプログラムの時間を設けて、身体機能の維持を図った。また、環境フェア、街角アートギャラリー等の地域の行事に参加して地域交流を行った。

6. 就労活動

(1) コピー機部品の分解(リサイクル)・検査

O社との取引は前年度比69%減。新規受注に向けて営業活動を行う。

(2) プラスチック製品の検査・計量

売上は前年度比横ばい。生産事業部と連携を取り、売上の向上を図る。

(3) 重機部品の組付け・検査

P社の売上は前年度比横ばい。新規作業の獲得に向けて営業活動を行う。

(4) 清掃活動

生活介護棟、就労継続支援B型棟の清掃を行った。2名の利用者を対象とし、スムーズに清掃できている。さらなる技術、マナーの向上を目指し、将来的に施設外就労につながるよう支援する。

(5) 施設外就労

① Q社の仕分作業は前年度比横ばい。現地従業員と連携を取り、利用者のマナー向上、障害の理解に取り組む。今後は携わる利用者の増加、技術の向上を目指す。

② ブルーベリー摘み取り作業はR社の諸事情で今年度は中止となっている。S社の草刈り作業は継続して実施した。

(6) 自主生産品作成

受注作業の合間の時間で、縫製製品の作成をして、地域行事で販売した。

(7) その他

① T社のアルミ板曲げ作業は継続して安定した受注を確保した。

② U社のコア詰め作業も年間通じて安定した受注を確保した。

③ 今年度より大井町にあるV社と取引を開始した。多くの利用者が作業に携わり、作業選択の幅が広がり、収入の確保にもつながった。

7. 余暇活動

(1) 生活介護レクリエーション

2月21日(金)小田原城址公園内の見学を実施した。昼食は近隣のレストランを利用して食事会を行った。また、公共交通機関を利用する方もいて貴重な体験ができた。

(2) 就労継続支援B型レクリエーション

2月21日(金)招き猫秦野渋沢店にてカラオケ大会を実施した。ほとんどの方が公共交通機関を利用した。

(3) 生活介護バス旅行

11月15日(金)沼津港散策&「深海水族館シーラカンスミュージアム」を見学した。グループごとに分かれて、お食事処を選んでの昼食会を実施した。

(4) 就労継続支援B型バス研修旅行

11月22日(金)「ヤクルト富士裾野工場」見学、「御殿場高原ビールバイキングレストラン麦畑」での昼食、「えびせんべいの里」を見学した。工場では何名かの方は熱心にメモをする姿があった。

(5) クリスマス会(合同)

12月20日(金)、生活介護棟作業室にて実施した。午前は利用者出し物と職員出し物を行う。午後は利用者の出し物と職員、保護者、地域ボランティア、音楽療法士によるコラボ演奏を実施した。

(6) クラブ活動

ドライブクラブ、音楽クラブ、運動クラブ、クラフトクラブの4つのクラブに分かれて月1回土曜日の午後を余暇で楽しんだ。

8. 職員研修

法人内職員研修については、6月8日(土)開催の「安全運転講習」、2月15日(土)開催の「防犯研修」「虐待防止・権利擁護研修」に参加した。個々では防犯マニュアル作成研修、支援スタッフ研修等に参加した。

9. 事業所運営

権利擁護については、虐待防止チェックリストを活用して、日々の支援の中で自己評価を図り、今後の支援への活用となることで継続中である。避難訓練については年2回実施して、防災に関する意識付けを図った。

10. 支援他

- (1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。
- (2) 松田センター・あすなろ合同会議を毎月1回実施した。
- (3) 工賃会議を7月、12月に実施した。
- (4) 利用者健診

- ・健康診断を年1回実施した。
- ・内科検診を年2回実施した。
- ・歯科検診を年1回実施した。
- ・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。

8. 相談支援事業所あすなろ

1. 事業内容 特定相談支援・指定障害児相談支援

2. 市町村別登録者数

市 町 村	人 数	市 町 村	人 数
小田原市	28	山北町	7
南足柄市	42	箱根町	1
大井町	19 (2)	秦野市	17
開成町	10 (1)	藤沢市	2
中井町	1	横須賀市	1
松田町	34 (8)		
		合 計	162 (11)

※ () は障害児相談利用者数。

3. 活動内容

(1) サービス等利用計画の作成

① 相談者の個性や環境に適した利用計画を立てる

相談者の取り巻く環境の変化に応じてサービスの追加、支給量の調整を図った。また、利用開始が円滑に進むよう事業所紹介、見学同行を実施した。

② 相談者の意思決定が適切に行われるよう情報提供、体験機会を作り、意思を尊重した利用計画を立てる

権利擁護の観点に基づいて、本人の言葉や思いを汲み取った支援計画を作成した。必要に応じて意思確認をする場を設け、支援関係者と情報共有を図った。意思決定支援の研修に参加して学ぶ機会を設けた。

③ 相談者の強みに着目し、相談者の力が生かされるよう利用計画を立てる

本人の興味や関心などから活動参加の意欲を引き出し、本来持っている能力を発揮できるよう、担当者会議の実施、事業所との連携を図った。

(2) モニタリング

① 厚生労働省の定める期間ごとの他、必要に応じて行う

平成30年度報酬改定後のモニタリング期間に対応した。相談者の状況に応じた面談や電話対応での聞き取りを行った。

② 本人、家庭、事業所等の連絡を継続的に行う

通所事業所、訪問系サービス事業所等と連携を取り、相談者の状況確認をし、支援機関や家族、本人に継続的な働きかけを行った。

③ 必要に応じて計画変更、もしくは福祉サービス事業所や関係機関との連絡調

整に努める

本人、家族、支援提供事業所からの情報提供、サービス調整、会議設定を円滑に実施することができた。

(3) 地域における社会資源の活用

- ① 行政機関、福祉事業所、医療機関、他の相談支援事業所との連携を深める
地域での会議、研修会へ積極的に参加した。地域内での新たな事業所や活動団体の把握をすることができた。また、介護保険事業や社会福祉協議会、県福祉事業などの障害福祉と結びつきのある関連業種とのつながりを持つために会議や研修の参加依頼に応じた。
- ② 相談支援事業のネットワークに参加
足柄上地区、小田原地区の自立支援協議会に参加している。2市8町相談支援事業所連絡会にも参加している。
- ③ 地域生活支援拠点事業等の開始を見据え、スムーズな連携がとれるように必要な会議、打ち合わせに参加し、情報収集や関係を築いていく
自立支援協議会や相談支援連絡会等の地域の会議への出席を通じて地域生活支援拠点事業等の動向について情報収集を行い。関係機関担当者から情報収集を行った。

4. 職員研修

- (1) 各種団体が開催する相談支援関係の研修に参加する
県西障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業の事例検討会や自立支援協議会主催の研修に参加を行い、相談支援の質の向上を図った。
事例検討会では法人内の他事業所職員にも参加を依頼して相談支援への理解を深めた。
- (2) 法人内の研修に積極的に参加する
法人内研修の実施、地域研修への積極的な参加を行った。相談支援の質の向上、関係機関との連携強化を図ることができた。
- (3) リーダーシップ研修に参加する(リーダー層対象、法人内、各種団体)
神奈川県社協主催のプレマネージャー研修に申込を行ったが新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。神奈川県主催の強度行動障害支援者養成研修の基礎研修を受講したが実践研修は感染防止のため中止となった。

5. 事業所運営

- (1) 研修等を通じて計画作成におけるプロセス等の質の向上・充実に努める
県西障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業の事例検討会等の地域

で実施される研修に参加することで相談支援の質の充実・向上を図った。

(2) 法令の順守(理解)を徹底する。

支給決定のプロセスや受給要件などの確認を行い、適正なサービス受給を受けられるよう行政、関係機関と確認、協議を行った。

(3) 日程調整、書類作成等のプロセスを見直しサービスの効率化を進める

事業所内での定期的な会議を行い、進捗確認、日程調整を実施し、効率化が図れた。書類の効率化を図るため自立支援協議会と連携して質を確保しつつ効率の良い書式の検討を行った。

(4) 経費削減を徹底する。

事業所外での面談時、行政提出書類をその場で作成する等の運用を実施した。今後も継続していく。

6. その他

(1) あすなろ登録者の計画相談、モニタリング面談を随時実施した。

(2) 松田センター・あすなろ合同会議を毎月1回実施した。

(3) あすなろ部署会議を毎月1回実施した。合わせて事務会議も行い事務機能の強化、連携を深めた。

9. コスモスホーム

1. 事業内容 共同生活援助(介護サービス包括型)

短期入所(空床利用型)

2. 利用者在籍状況 定員30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひだまり	133	132	132	137	132	135	136	127	133	127	125	135	1584
やまびこ	323	318	319	330	333	323	330	329	328	327	316	336	3912
こもれび	296	312	303	317	320	305	315	306	315	289	267	312	3657
合計	752	762	754	784	785	763	781	762	776	743	708	783	9153
退居	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
入居	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2

3. 平均利用率

(1) 平成30年度 81.1%

(2) 令和元年度 83.6%

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月16日	市・美化デー	中沼公民館
8月17日	中沼自治会夏祭り	中沼公民館
9月1日	市・中沼自主防災訓練	中沼公民館
11月10日	中沼自治会文化祭	中沼公民館
11月17日	日向公民館祭り	日向公民館
3月15日	ワクワクのりのりコンサート	(新型コロナウイルスのため)中止

5. 支援内容

(1) 障害者の地域生活・地域移行の「受け皿」としての役割

利用者の状態に応じ、自主性を保ち、一人ひとりの「ふつうに暮らす」を支援できるように行政、医療、専門機関、日中事業所等と連絡調整を行うとともに地域移行の「受け皿」として法人内7名、法人外6名の短期契約を結び、導入のきっかけ作りを果たした。コスモスホーム会議、クルー会議、また現場において職員への技術指導および助言を行い、利用者の人格に十分に配慮しながら統一した支援を提供した。

(2) 日常生活能力の維持・向上

利用者の障害特性を踏まえ、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう「各自のできることを増やしていこう。」を継続目標にやまびこ、こもればは更に食器洗い、洗濯、布団干し、窓拭き等々、個々に進んでできるようになってきている。月のメンバー会議でも自分の考えをみんなの前で発言したり質疑応答も盛んになってきている。ひだまりメンバーは昼薬、資料や段ボールを日中事業所に届ける係で、役に立つ喜びを共有している。

服薬管理対象者 18 名（平成 30 年度 15 名・平成 29 年度 17 名）、塗布薬および季節等の配薬を含めると 28 名（平成 30 年度 21 名・平成 29 年度 23 名）であった。金銭管理対象者 18 名（平成 30 年度 17 名・平成 29 年度 17 名）については利用者預り金規程に則り不備のないよう実施した。生活相談においては例年同様に日中事業所、ホーム内の人間関係について多く寄せられた。自分で解決できるようアドバイスしつつ、溜め込まずに少しずつ話ができるようになったことを評価したい。その他、間食等管理対象者 5 名（平成 30 年度 6 名・平成 29 年度 5 名）の支援を行うことでメンタル面の安定と作業意欲向上につながっている。

（3）本人の望むサービスの提供

本人の意向を尊重し、モニタリングの実施でニーズを引き出し、支援計画の作成と見直しを行い心身の状況、その環境に応じて自立に向けた支援が提供できるよう取り組んだ。

（4）日中支援

心身の不良等により予定した日中活動サービスを利用できなくなった利用者や就労先欠勤の利用者に対する昼食提供や様子観察、通院同行等、関係機関への連絡調整は、居宅介護事業所それいゆとの連携により十分な対応ができた。

（5）通院同行

7 名の定期通院 57 件と 8 名の緊急・臨時通院 28 件（平成 30 年度 7 名の定期通院同行 57 件と 6 名の緊急・臨時通院 24 件）を実施し、利用者の健康増進、維持に努めた。重度化に伴い 1 名につき複数受診のため今後、更に通院同行への職員数が必要になってくると思われる。

（6）地域活動

地域行事への参画と交流を深め、暮らしの場の充実を図る目的で自治会清掃等、積極的に参加し、中沼、日向自治会行事では日中事業所の協力を得て、作品展示や出店を継続している。

（7）余暇活動

昨年の課題であった安定した取組の実施について年間計画を作成し、月 1～2 回土曜日に職員 2 名体制で取り組み、日中事業所の協力を得ながら 2 月までは切れ目のない活動を行った。新型コロナウイルスの関係で 3 月の予定は中止になった。開所 7 年目にして「県西地区グループホーム交流会」に職員が利用者 2 名を

引率し、初参加した。

6. 職員研修

利用者サービスの質的向上を目的に令和元年度は下記の研修に参加した。

- 6月 8日 法人職員研修 「安全運転講習」
- 8月 27日 グループホーム職員研修「精神障害の理解～生活のしづらさの理解とグループホームでの関わり方～」
- 8月 29～30日 第31回全国グループホーム等研修会
- 9月 10・12日 2019年度初任者キャリアパス対応生涯研修過程
- 10月 11日 令和元年度地域移行支援人材養成研修
- 2月 10日 県西地区施設長会主催職員研修「意思決定支援の取組みを学ぶ」
- 2月 15日 法人職員研修 社会福祉施設防犯講習／権利擁護と虐待防止

7. 事業所運営

利用者、職員の安全第一に防犯および設備の維持管理に取り組めた。LED照明全棟設置、やまびこ脱衣室の手摺り追加設置、こもれび1階廊下の洗濯ボール設置、重度者用入浴機器のメンテナンス契約を締結した。また、修繕を要する件には、すぐの対応を行った。

衛生管理面においても早めの対応により、インフルエンザ発症者1名のみで抑えることができたが、複数発生した場合の隔離する場がないことが大きな課題でもある。支援等については研修およびリスクマネジメント委員会を活用し、虐待防止・人権擁護を意識した利用者支援の向上に努めた。引続き各事業所等との連携を図り、健全なる経営のため、業務改善に取り組みたい。

8. 支援他

利用者の課題を共有し、本人、保護者の意向を汲み取り適切な支援を実施するため、コスモスホーム会議12回、クルー会議12回、メンバー会議12回、ケース会議全体2回・個別ケース14回、個別支援計画作成のための面談を2回実施した。利用率は前年度より2.5%増となったが、目標利用率85%達成には至らなかった。

9. 短期入所事業

地域で生活している障害者等との常時の連絡体制の確保と緊急一時的な宿泊の場の提供など、地域で暮らしている障害者等を支援するため、関係機関と連絡調整を行い令和元年度は13件の契約（法人内7件・法人外6件）を結んだ。円滑に移行できるよう配慮するとともに継続して入居している他の利用者の支援に支障のないよう対応した。令和元年度利用総数は400名（平成30年度293名）の定期的な利用をいただいた。今後は、更に保護者の高齢化とともに緊急性を含めた利用が増えていくものと予想される。